

ケアニン＝

介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、
自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってくれるか、
どこにやりがいがあるんだ、
どこが楽しんだ…ってか？」

「思っていませんけど」

「えっ思わないの？スゲエな。俺なんか
新人の頃は毎日思っていたけどな。少しは思うだろう？」

「…まあ、少しは」

「人間だから当然だよ。
こっちも人間なら、向こうも人間。
感情もあればプライドもあるんだ」

介護職員が30万人不足！

高齢化がピークを迎える2025年に(厚労省調べ)

“3K(きつい、汚い、危険)”のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも厳しい仕事です。しかしこれほど人と本音で向き合え、感動する仕事はないと長く介護に携わる人たちは胸を張ります。映画「ケアニン～あなたでよかった～」は、神奈川県藤沢市に実在する「おたがいさん(株式会社あおいけあ)」をはじめとする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、関連団体に取材のご協力をいただき、シナリオを一つずつ積み上げていきました。この作品には介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりの尊さが描かれており、この中で語られているセリフの一つ一つが全て実際の現場からとった生きた言葉なのです。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を追いかけていくうちに自然と、人生に前向きになれる心温まる感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン～あなたでよかった～」です。

「人のために仕事がしたい」
「じいちゃん ばあちゃんが好
きだから」そんな理由で介護
の仕事をする若者を、私たち
は「介護ってすてきだぞ」って
迎えることができるのだろ
うか？大森圭が誇りをもって
働ける現場をつくらう！

株式会社あおいけあ
代表取締役 加藤忠相

「…経験を積むんだよ。それが身になる。
現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、
圭も一人前のケアニンだ」

「けあにん…？」

「ケアする人間。介護福祉士って
言うときるしいじゃん」



認知症で人生終わりになんて、僕がさせない――。

大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。高校卒業後、これといってやりたいことがなかった圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学。卒業後、圭が働くことになったのは、郊外にある小規模介護施設。高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、圭が初めてメインで担当することになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だった――。



戸塚純貴 松本若菜 山崎 一 / 水野久美 藤原令子 葉 葉 葉 小市慢太郎 はか

監督:鈴木浩介 主題歌:香川裕光「星降る夜に」

原案:エグゼクティブプロデューサー:山田孝幸 プロデューサー:吉見秀隆/金延宏明/長田安正/柳瀬太郎 共同プロデューサー:小川明日香 監製協力:加藤忠相(あおいけあ) 脚本:藤村勝彦 音楽:遠藤浩二 撮影:西村敏博 照明:宮尾謙史
美術:新井博光 録音:重松健太郎 編集:佐野由起子 技術プロデューサー:瀬戸芳正 監督補:飯沼高彦 ラインプロデューサー:平山高志 介護指導:鈴木 良 スタイリスト:田中トモコ/棚野正和 ヘアメイク:遠山真美
特別協力:UAEビセンティアルユニオン/東北福祉大学/株式会社アズバーナース/株式会社エヌ・エス/株式会社長谷川エンターテインメント/株式会社スラング 協力:全国社会福祉法人経営者協議会
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会/一般社団法人全国介護福祉士協会/公益社団法人全国老人福祉会/公益社団法人全国老人福祉施設協議会/公益社団法人全国老人福祉施設協議会/公益社団法人日本介護福祉士会
公益社団法人日本介護福祉士養成施設協議会/一般社団法人日本在宅介護協会/NPO法人未来をつくるkaijaカフェ/一般社団法人「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会 監修:厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別選定作品 後援:藤沢市
製作:「ケアニン」製作委員会(ワンダーラボ/ライブラリー/コンテンツサービス/ノビキタース/ユナイテッドエンタテインメント/HORIZON/エイチエムプラス) 配給:宣伝:ユナイテッドエンタテインメント
©2017「ケアニン」製作委員会 2017年/日本/カラー/ステレオ/105分

www.care-movie.com

@care_movie

caremovie